



人工関節手術支援ロボット導入 より正確な手術をアシスト

河野正明さん

(医) 里仁会興生総合病院 副院長

住所 三原市円一町2-5-1

電話 (0848)63-5500

最 新の人工関節手術支援ロボット

「ROSA Knee (ロザ・ニー) システム」を広島県で初めて導入した(医)里仁会興生総合病院。副院長の河野正明氏は「変形性膝関節症の治療法の一つに、変形した関節を人工関節に全て置き替える『人工膝関節全置換術』があります。この手術では、術前に計画した骨切り量や骨切り角度を術中に再現するのに、執刀医の経験値によるところが大きいです。このROSA Knee (ロザ・ニー) システムを用いた手術では、手術支援ロボットが膝の位置を正確に把握し、人工膝関節を置換するための骨切り量を0.5mm単位、角度を0.5度単位で設定できます。このため術者による誤差が縮まり、術後の患者さんの満足度が向上します。手術が不安な方には治療の選択肢として、手術支援ロボットを活用した手術があると知っていただきたい」と話す。人工関節手術支援ロボットは保険適用。